

令和4年度第3回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和5年2月22日(水)午前10時30分～午前11時55分
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 小林昭治、浅川幸彦、桜井彰一、坂本肇、古屋昭彦、三井麻里子、加藤きくじ
- 4 欠席委員 内田英一、横森千恵子、伊部袈裟晴
- 5 事務局 秘書広報課 小澤哲彦、
広聴広報担当 廣嶋満、田澤ゆか、浅川実李
- 6 会議録署名 桜井彰一、加藤きくじ
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 なし
- 9 内容
(1)開会
(2)会長あいさつ
(3)議事

議事1 広報ほくとについて

- 【委員】楽しく、見やすく、情報がわかりやすい広報紙になっており、毎月楽しみにしている。広報コンクールで受賞する段階になってきていることも大変嬉しく思う。ぜひ今後とも偏りのない幅広い記事を掲載して欲しい。例えば、新聞のスポーツ欄に一部のスポーツしか載せないのではなく、スポーツひとつにしても様々なスポーツを取り上げる、特にマイナーなものをクローズアップしてほしい。北杜市はもっとスポーツの振興に力を入れても良いと思う。広報紙でも、今のニーズにあった子育て関係の記事が中心になると思うが、幅広い見方で記事を書かせてもらえればありがたい。
- 【委員】広報紙に掲載しているイベント情報に、イベントの様子も取り合せて欲しい。例えば、子ども向けの教室などがあっても、どのようなものか想像がつかず、小さな子を連れて行っても大丈夫なのか心配になる。様子がわかる写真などがあると、行ってみようかなという気持ちになる。初めて開催のイベントは難しいが、何回か実施しているものについては、参加者募集のお知らせと共に、前回の写真を載せることで、イメージが湧きやすく、もっと市民も参加しやすくなるのでは。
- 【委員】地域によっては移住者と元々住んでいる住民間でのトラブルがあるという話も聞く。広報紙で、例えばゴミ出しの情報など、良い面と悪い面を掲載し、移住者が溶け込みやすい、お互いに暮らしやすくなる雰囲気を作ってもらえればありがたい。

- 【委員】愛育会で赤ちゃん訪問に行った際、子育て世代の移住者から、なかなか地域とのふれあいが持てない中で、市の支援にとっても助かっているという話を聞いた。子育て支援施設に、自分一人で不安を抱えて行っても、そこに来ているお母さんと友達になって、次は横の情報発信ができる。広報紙の中から様々な情報を得て、北杜市で楽しく過ごしていると言っていた。若い子育て世代も広報紙を見ている方が多く、周りからの情報と合わせて、子育てに関する情報を活用しているそう。
- 【事務局】広報紙が地域に出ていくきっかけとなり、少しずつ地域の方と付き合いが広がって、良い関係づくりが構築できればと思う。
- 【委員】赤ちゃんが少ない中で、身近な地域で赤ちゃんがいる人の友達ができない状況にある。広報紙などで、子育てに関する情報を得ることができれば、子育て世代も不安が解消しやすい。
- 【事務局】11月号の特集で子育て支援に係る職員を紹介した。専門職の話聞き、強い思いを持って業務にあたっていると改めて気づいた。引き続き、市職員も含め、子育て世代や困っている人を支える活動をしている方を紹介していきたい。制度や施設を知っていても利用したことがない、そもそも知らない方に対し、利用してもらえる方向に持っていけるよう情報発信していきたい。
- 【委員】広報ほくとについては、以前と比べて格段に見やすくなり、中身も分かりやすく充実している。2年連続、県の広報コンクールで奨励賞をいただいたのも、本検討委員会はもちろん、職員が様々な方向に目を向け、耳をかたむけた結果だと思う。ぜひ、今後も奨励賞より上を目指して、共に広報紙を作っていくしてほしい。映像部門は最優秀賞を受賞し、全国大会に出展されるので、良い結果を楽しみにしている。
- 【委員】新型コロナウイルスのため、今年度3年ぶりに開催された地元のお祭りを、広報紙で紹介してもらいありがたかった。
- 【事務局】コンクールでの入賞は、本検討委員会のご意見のおかげだと思う。今後何か気づくことがあれば、小さなことでもご意見を頂きたい。
- 【委員】コンクールの広報紙部門で最優秀賞を受賞したのはどこの自治体か。
- 【事務局】最優秀賞は山梨市、その次が上野原市。両市とも写真が素晴らしい。
- 【委員】携わる職員がそのように認めているのであれば、ふさわしい受賞なのだと思う。他市町村の広報紙はあまり目にしたことが無いが、今度機会があれば見てみたい。
- 【委員】プロから写真の指導を受けたことはあるか。
- 【事務局】プロのカメラマンを講師とした職員研修を実施している。基本的な知識は学んでいるが、良い写真を撮るには経験と向上心が必要。引き続き頑

張りたい。

- 【委員】市民は地域の素晴らしさを知っていてもなかなか外に発信する機会がない。今転入者が増えているのは、その素晴らしさを感じているからであり、広報紙でも、もう少し地域の宝を発信したほうが良い。高齢者や子どもにスポットを当てるのも良いが、地域の誇るべきものを市民の方に知らせることが大切。住んでいる人にとって、誇れる地域であることが、次世代の子どもたちに理解してもらうことに繋がり、最終的に市民の定住を図ることも広報の役割だと思う。また、環境に関する情報掲載が少なく感じる。環境はSDGsに繋がる部分であるので、取り上げてほしい。今後も、幅広い情報を掲載しながら、視覚で訴える広報紙の強みを活かし、更に良いものになるよう努めてほしい。
- 【委員】子どもたちに北杜市の良いところを聞くと、あまり答えられない。小学校高学年や中学生になると、「自然」など漠然としたワードは出るが、北杜市の魅力が具体的に子どもたちに伝わっていないように感じる。例えば、長坂町は合併前から「名水と国蝶オオムラサキの里」というキャッチフレーズがあり、小学生のうちから名水とオオムラサキが身近にあった。北杜市に合併し、対象が幅広くなったことで、代表的なものをピックアップすることが難しく、漠然的にしか伝えられていないのではないかと思う。市や学校でも、「世界に誇る水の山プロジェクト」や「北杜やまのうた」など取り組んでいるが、なぜそれをやっているのか、なぜ素晴らしいのか理解できていない。広報紙などでも、改めて発信してほしい。
- 【委員】北杜市には、3つの名水百選、国蝶オオムラサキ、星空スポット、2つのユネスコエコパーク、縄文文化の日本遺産など誇れるものがたくさんある。住んでいる自分たちにとっては当たり前になってしまっているものの素晴らしさを再認識することで、地域への愛着が沸くと思う。

議事2 北杜市公式ホームページ・SNSについて

- 【委員】ホームページの閲覧者で、どこの地域からのアクセスが一番多いか。
- 【事務局】現時点では把握していないが、確認する方法を研究していきたい。
- 【委員】ターゲティングのためにも、国内外、県内外など、データを把握しておく
と今後、様々な対策ができると思う。
- 【事務局】公式LINEは子育て世代でも登録している人が多い印象があるが、細かい機能を活用しきれていないように思う。例えば、メッセージ欄に「ゴミ」と入力すると、ゴミ捨てに関する情報を教えてくれるなど、そこまでの詳しい機能はあまり知られていない。

- 【委員】トップページのバナーはどのくらいの費用がかかるのか。また、どの分野のアクセスが多いのか。アクセスの多いものをトップページに表示する方が効果的だと思う。
- 【事務局】民間のバナーについては、暮らしの情報ページの下段に表示しており、1月5,240円。現在トップページに表示しているバナーは、コロナウイルス関連の情報で、臨時的に表示している。来年度以降のトップページを含むページ編成については、必要な情報により簡単にたどり着けるよう、専門の方と相談しながら検討していきたい。
- 【委員】ページ数が多いため、有効的に活用することが大切。例えば、リンクページ・サポーターサイトのような別ページを作り、民間のバナーを一覧で表示する方法も良いのでは。アクセスがしやすくなり、掲載希望が増えることでバナー広告費用の収益も見込める。
- 【委員】スマートフォンでホームページを見ると、かなり下までスクロールしないとバナーまでたどり着かず、見てもらえるのか分からない。バナーに力を入れていくのであれば、スマートフォン版の表示を検討した方が良い。
- 【委員】今はパソコンよりもスマートフォンで調べる方が主流だと思うので、分かりやすい表示方法を検討してほしい。

議事3 週刊ほくとニュースについて

- 【委員】ボランティアで活動している個人や団体を取り上げてほしい。子どものことは多く放送されているが、例えば学校の登下校を見守るボランティアなど、子どもたちを支える側の人たちが取り上げられることが少ないため、公平性を保つためにも目を向けてほしい。
- 【委員】ジャンルを問わず幅広い話題が見たい。また、現在小海線の廃止が検討されていることを受け、小海線の魅力を再発信するような広報を行ってほしい。以前は、JRの路線で最も標高が高い場所を走る「天空にいちばん近い列車」だと言われ注目されていたが、今はあまり聞かなくなっている。地域への再周知や観光方面にも情報発信を検討してほしい。
- 【委員】小海線には、高原列車としての魅力、ブランド力がある。地域が誇る宝として、存続を目指せるよう、市民にも再度素晴らしさを認識してもらえようような情報発信をしてほしい。
- 【委員】通学路の見守り隊について、以前地域委員会で表彰状を渡したことがある。せっかく活動を行っていることなので、そういった団体は市で何か取り上げていただけるとありがたい。
- 【委員】市政祭で表彰を受ける方の中には、ボランティアで頑張っている人たち

があまり入っていない。様々な部分で取り上げてほしい。

- 【委員】NPO 法人の子育て支援団体で、これまでは子育て支援を中心にやってきたが、北杜市全体のまちづくりを考える上で、高齢者の外出支援を実施しているが、実際に支援するのはボランティアの方々。総合計画でも、自助共助を掲げていて、地域で支え合いながら行政も一緒にやっていこうと取り組んでいる。地域の支え合いが希薄になってきているとはいえ、昔からのかたちが残っている部分も多く、市民としてはとてもありがたい。ボランティアをしている方からは、子どもたちや高齢者のために何かしたいという強い気持ちを感じる。今は、子育て世代を全面に押し出せば良いという風潮になってしまっているが、様々な立場の人が住んで、ひとつのまちだと思う。誰かに切れ目なく支えられていることを伝える役目を、広報や魅力発信で担ってほしい
- 【委員】市で行っている、子育てや他の協議会等で議論された内容を本検討委員会で共有することはできるか。可能であれば、関連したものを広報活動にどう反映させるか議論の参考としたい。
- 【委員】子どもたち、子育て世代、高齢者は交流が少ない現状がある。世代を超えて子どもたちを見守っていくことが重要であり、そのためにはボランティアに焦点をあてることは非常に大切なこと。多くの市民は、何をしたいか、何が必要とされているのか分からない状態。それが分かるような情報発信をしていくことで、北杜市全体が多くの目で支え合えるまちになると思う。ポイントを点で結ぶことが重要。
- 【委員】受け皿環境を作ってそれを情報発信するときには、何をやっているのか理解していないと、なかなか情報発信できない。本検討委員会の委員からは、効果的な情報発信をするために、様々な情報を取捨選択することが任務。可能な限り情報共有いただきながら、今後も議論を進めて行けたらと思う。事務局には、検討員会で出た意見を参考に、課題をひとつずつ解決してほしい。

以上、令和4年度第3回北杜市魅力発信検討委員会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員
